

ポイント
 。日本は既に省エネ先進国であり優位な立場
 。部品や技術の包括提供で日本の強み生かせ
 。民間の事業リスク軽減へ国の支援も必要に

元橋 一之 東京大学教授

政府が使用電力の15%削減という節電目標を決定したのを受け、公的機関や企業は次々と節電対策を打ち出している。主な内容としては室内照明や温度調整などの省エネ勤務時間の休日・早朝へのシフトによる電力需要の負荷平準化である。省エネ型のオフィス機器やシステム、太陽光発電や再生可能エネルギーの導入も進められている。

地球温暖化問題に対する地球エネルギーと電力との関係として中心の役割が期待されていた原子力発電のあり方が問われている。



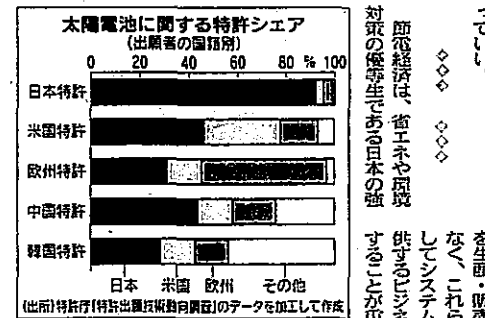
節電経済を考える④ 技術革新 強み磨く好機に

や環境技術に積極的に取り組んだことが挙げられる。政府は節電目標や省エネ・環境投資に対する補助金や規制などの支援制度の影響も大きい。日本は省エネや新エネの技術面でも先進国である。グラフは日本や米国などに出現される大規模な再生可能エネルギーを産出する国々を示している。米国や中国は再生可能エネルギーの分野において日本からの技術輸出が約半分を占めている。



省エネ先進性一段と 国際標準つかみ収益化を

省エネ先進性一段と国際標準つかみ収益化を。省エネ先進国である日本は、省エネや環境対策の優等生である。日本の強みを生かして、省エネや環境対策の技術や製品を海外に輸出する。省エネ先進国である日本は、省エネや環境対策の技術や製品を海外に輸出する。省エネ先進国である日本は、省エネや環境対策の技術や製品を海外に輸出する。



太陽電池に関する特許シェア (出願者の国籍別) (出)特許庁(特許出願技術動向調査)のデータを加工して作成

省エネ先進性一段と国際標準つかみ収益化を。省エネ先進国である日本は、省エネや環境対策の優等生である。日本の強みを生かして、省エネや環境対策の技術や製品を海外に輸出する。省エネ先進国である日本は、省エネや環境対策の技術や製品を海外に輸出する。

省エネ先進性一段と国際標準つかみ収益化を。省エネ先進国である日本は、省エネや環境対策の優等生である。日本の強みを生かして、省エネや環境対策の技術や製品を海外に輸出する。省エネ先進国である日本は、省エネや環境対策の技術や製品を海外に輸出する。

省エネ先進性一段と国際標準つかみ収益化を。省エネ先進国である日本は、省エネや環境対策の優等生である。日本の強みを生かして、省エネや環境対策の技術や製品を海外に輸出する。省エネ先進国である日本は、省エネや環境対策の技術や製品を海外に輸出する。